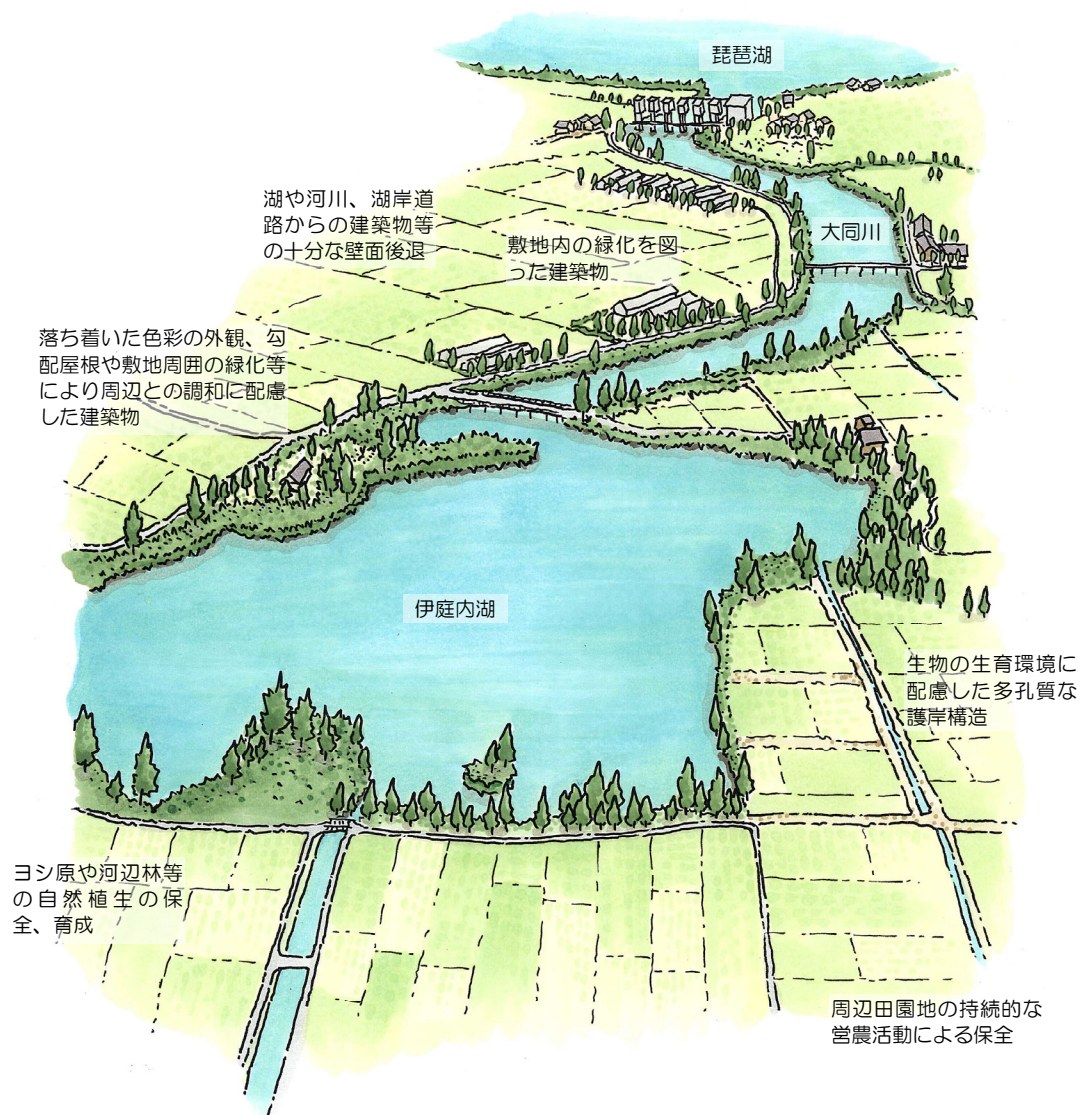


3) 景観形成重点地域の景観形成方針

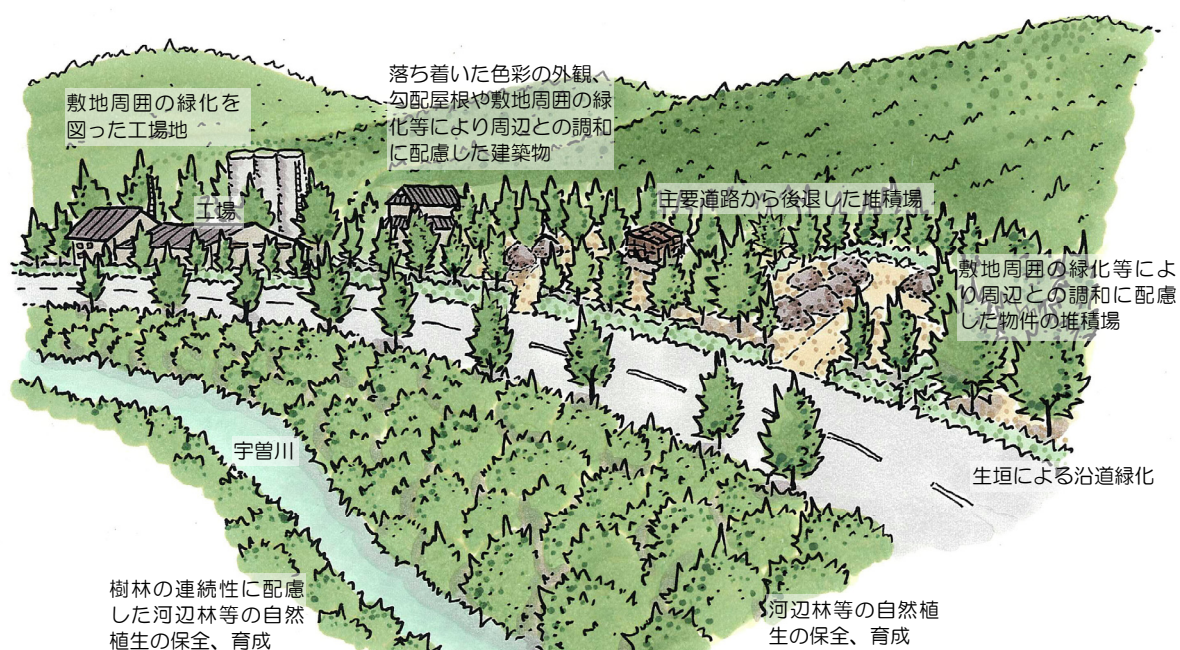
景観形成区分	景観形成方針
琵琶湖・伊庭内湖	琵琶湖・伊庭内湖景観形成重点地域は、愛知川・大同川の河口部にヨシ原やカワヤナギ類が生育し、豊かな水辺の自然景観を呈しており、多様な生物の生息環境ともなっている。その周囲には干拓地が広がり、湖と一体となった固有の景観を形成している。また、琵琶湖岸からは、その湖面と対岸の比良山系等の眺望景観が広がっている。 このような琵琶湖・伊庭内湖の自然景観とその周辺に広がる田園景観を保全・育成すると共に、これらが一体となって広がる眺望景観を保全することを基本とする。 ヨシ原等の自然植生の保全・育成を図ると共に、その後背に広がる田園地の持続的な営農活動による保全を図る。また、護岸改修等に当たっては、多自然型工法を用い、生物の生育環境に配慮した構造とする。建築物や橋りょう等の工作物、屋外広告物については、周辺景観との調和を図ると共に、生物の生育環境にも配慮した構造とする。

〈琵琶湖・伊庭内湖の誘導イメージ〉



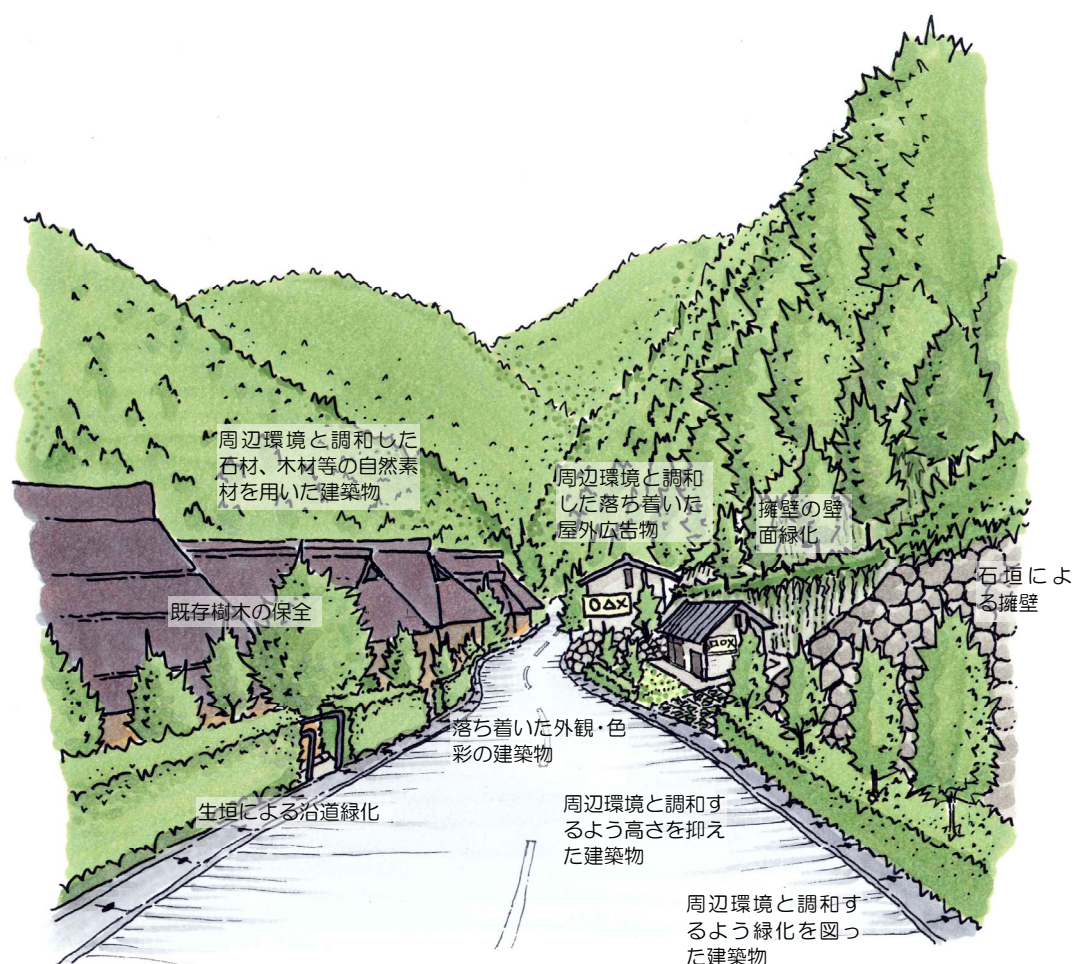
景観形成区分	景観形成方針
宇曽川	宇曽川景観形成重点地域は、鈴鹿山系より注ぐ水と緑豊かな河辺林等の自然景観を呈している。 このような水と緑の自然景観を保全・育成することを基本とする。 河辺林の保全・育成と共に、護岸、橋りょう等の整備については、周辺の河辺景観に調和した景観形成を図る。河辺周辺の建築物や屋外広告物等については、河辺林等の自然景観と一体となった景観形成を図る。

〈宇曽川の誘導イメージ〉



景観形成区分	景観形成方針
鈴鹿山系 国道 421 号沿道	鈴鹿山系国道 421 号沿道景観形成重点地域は、周辺の山地、樹林、溪谷等の自然環境により緑豊かな沿道景観を呈している。また、本市を代表する古刹の一つである永源寺やダム湖周辺においても自然環境と一体となった景観を呈している。 このような自然あふれる沿道景観や文化財と一体となった自然景観を保全・育成することを基本とする。 道路ののり面、ガードレール等の道路施設、沿道の植栽等は、周辺の自然景観と調和した景観形成を図る。建築物や屋外広告物等についても、沿道や敷地周囲の緑化を積極的に図ると共に、周辺の自然景観と調和した景観形成を図る。

〈鈴鹿山系国道 421 号沿道の誘導イメージ〉



景観形成区分	景観形成方針
国道 307 号沿道	国道 307 号沿道景観形成重点地域は、鈴鹿山系を背景とした広がりのある田園の中に集落と一体となった平地林や鎮守の森、溜池が点在する景観を呈している。 このような自然と生活が調和したのどかな沿道景観を保全・創出することを基本とする。 既存の農耕地をはじめとした樹林、水面等の自然景観の保全や造成等における緑化を図ると共に、建築物や屋外広告物等については、周辺景観に調和した景観形成を図る。また、ガードレール等、道路施設についても周辺景観に配慮した意匠に努める。さらに、景観を特徴づけている建築物や樹木等の保全を図ると共に、近隣の歴史的文化遺産の観光資源としての活用を図る。 産業等の活性化が進みつつある区間にあっては、土地利用等の将来計画を踏まえ、地域特性を活かした沿道景観を創出する。
朝鮮人街道沿道	朝鮮人街道沿道景観形成重点地域は、歴史街道の趣と共に、地域のシンボルとなっている繖山と田園や農村集落が一体となった景観を呈している。 このような親しみとuringおいのある沿道景観を保全・育成することを基本とする。 のどかな田園部では、既存の樹林、水路、農耕地等の自然景観の保全や造成等における緑化を図ると共に、建築物や屋外広告物等については、山麓の田園景観等に調和した景観形成を図る。 また、都市化が進んでいる能登川市街地においては、沿道の土地利用計画との整合を図りながら、地域の活性化に配慮した景観形成を図る。

〈国道 307 号沿道、朝鮮人街道沿道の誘導イメージ〉

